

# 中部大学 自己点検・評価だより Self Evaluation Newsletter



第7号

日頃より自己点検・評価にご協力いただきありがとうございます。

すべての国公私立の大学および高等専門学校は、学校教育法に基づき、7年以内ごとに認証評価機関による第三者評価(認証評価)を受けることが義務付けられています。本学は2020年度に公益財団法人大学基準協会による評価を受け、来る2027年度の受審に向けて「認証評価受審WG」を立ち上げるなど、すでに待ったなしの準備を進めているところです。

本学では、毎年実施している「自己点検・評価」と、2名の外部委員による「外部評価」の二本立てで点検・評価を行っており、これが本学の特徴の一つとなっています。こうした毎年の積み重ねが認証評価受審へつながる仕組みです。

「全学的課題」は、これら二つの点検・評価結果から抽出されたものであり、2025年度には2件の課題を策定しました。本号では、これらについて紹介し、まずは皆さんと共有したいと思います。

評価担当副学長 幅上 茂樹



2025年度の全学的課題が決定しました！

「あてになる人間」としての成長実感を促す  
DP到達度の設定と可視化

(担当責任者：柳谷副学長)



不言実行！

柳谷副学長

本学は、建学の精神である「不言実行、あてになる人間」の育成を教育の根幹としています。しかしながら、学生が自らの成長を実感し、社会で求められる力を獲得しているかを客観的に把握し、可視化する仕組みが整っているとは言えません。

そこで、各学部・学科においてディプロマ・ポリシー(DP)に基づき、学修成果の到達指標を具体的に設定し、共通の評価基準を用いてその成果を測定・可視化する体制を整備することが喫緊の課題です。

この課題への取り組みは、今年2月の中央教育審議会答申が掲げる「知の総和」向上の目的の一つである教育研究の「質」の向上や、社会が求める人材の育成にも資する重要な活動です。



認証評価受審WGはじめました

2027年度受審に向けて動き始めました。  
皆様ご協力の程宜しくお願ひいたします。



IRデータ活用とFD・SD活動の連携による  
教育改善・学生支援の深化

(担当責任者：幅上副学長)



ID大学運営

幅上副学長

成績評価、アセスメントテスト、学びに関する調査などのIRデータは、大学全体では蓄積・分析が進んでいるものの、学部・学科レベルでの有効的な活用には至っていません。

この主な要因の一つとして、IRデータの具体的な活用事例や改善方法に関する理解が十分に浸透していないことが挙げられます。全学の平均データだけでは見えてこない個別の課題に対し、各学部・学科レベルでデータを活用することで、より大きな教育改善効果が期待できます。

したがって、本課題を克服するため、IRデータの活用とFD・SD活動が相互に連携し高め合う仕組みを構築し、データに基づいた意思決定と対応が可能な、現場主導の運用体制の確立を目指します。

全学的課題は自己点検・評価結果と  
外部評価の結果をもとに決定しています。



## 2025年度の外部評価

昨年度から引き続き、山形大学 浅野茂教授と、今年度新たに株式会社学びと成長しくみデザイン研究所 桑木康宏氏のお二方にご担当いただきました。

評価項目	3つのポリシーを踏まえた取組みの適切性、内部質保証、教育課程・学習成果、学生の受け入れ、留学生の受け入れと派遣		
評価期間	5月末～8月中旬	評価方法	書面評価

### 評価結果概要

#### 【長所・特色】

- ・多様なアセスメント・プランにより、学習成果を多角的に把握・評価できる体制が整っている。
- ・「オハイオ大学長期研修」の継続的実施は留学生の受け入れ・派遣を論ずる際、最大の強みである。

#### 【課題事項】

- ・外部評価、第三者評価の位置づけについて、一部それぞれの評価を混同している様子が伺える。
- ・DP達成度評価は適切に設計されているものの、その結果を教育課程の継続的改善活動に繋げている例が少ない。

今回外部評価の受審にあたり、学部・学科にもご協力いただきました。下記 QR コードより、ご記入いただいた全学部・全学科のシートもご覧いただけます。



第三者評価・外部評価結果の Web  
サイトをリニューアルしたよ！

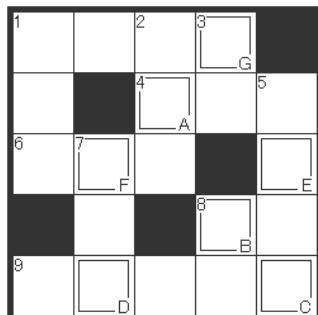
## 全学的観点によるシラバス質向上 WG 活動報告

2020年1月22日の第152回大学分科会(中教審)において「教学マネジメント指針」が取りまとめられました。指針では「シラバスは、個々の授業科目について学生と教員との共通認識を図る上で極めて重要な存在である。」と示されています。これを受けて本学では、2024年度の全学的課題「DP・CPとの整合性を高めるシラバスの精緻化-step2 学生と教員へのシラバスの浸透-」の取り組みの一環として、以下の事項を目的としたWG(全学的観点によるシラバス質向上WG)が設置され、

- ① シラバスの記載内容が学修者(学生)目線の内容であるかを点検すること
- ② 客観的な視点から、第三者点検の現状を把握すること
- ③ 今後のシラバスの質向上に向けた方策を検討すること

の3点を中心に、2024年11月から2025年7月まで計6回のWGを開き議論を重ねました。同年8月には、シラバス・チェックシートの最終案をまとめ、活動報告書と共に、9月開催の内部質保証推進委員会へ報告されました。

## ★大学評価クロスワードパズル★ しまじょ



1	イ	ン	2	パ	ク	ト
セ			3			4
			5			6
			7			8
			9			

第6号の答えは  
「ガケセイサンカク」  
でした。

答え A B C D E F G

### ☆☆☆ タテのカギ ☆☆☆

1	言葉などを見ないでそらで言えるようになること。
2	和服用の織物の総称。
3	下の対義語。
5	酒の燗を熱くすること。また、その酒。
7	式典などで公的な機関の代表者が公式に告げ知らせる言葉。学長〇〇〇。
8	芸術形式の一つ。台本や筋書きに基づいて、観衆の眼前で演じられるもの。

### ☆☆☆ ヨコのカギ ☆☆☆

1	インターネット上でやりとりできる電子データ資産。〇〇〇〇 資産。
4	本学の研究者と企業のマッチングを推進するイベント。中部大 学〇〇〇。
6	外国から自分の国に帰ること。
8	外傷や体内の諸疾患を手術や処置によって治療する医学の一 分科。
9	文部科学省から交付され、日本私立学校振興・共済事業団を通 じて各学校法人に配分される。私立大学等経常費〇〇〇〇〇。

(株)中部大学サービスは学校法人中部  
大学100%出資の事業会社です。  
教職員の方々、学生の方々向けに多彩な  
福利厚生サービスを提供しています。  
是非、お気軽に立ち寄りください。



キャンプラ  
2階だよ！  
気軽に来てね！



#### 中部大学サービス事業内容



第7号



発行日 2025年11月25日

発行 大学企画室 大学評価推進部

内線 55-7588・55-7900 (大学企画部 大学企画課)

E-mail info-hyoka@fsc.chubu.ac.jp